

会 議 録

会議の名称	令和元年度 第3回環境審議会
開催日時	令和2年1月28日(火) 午後6時から8時まで
開催場所	田無庁舎3階 庁議室
出席者	【委員】安永会長、松本副会長、降旗委員、鈴木委員、内田委員、石崎委員、高木委員、玉記委員、渡邊委員 【事務局】萱野みどり環境部長、橘環境保全課長、石部係長、松下主任 【傍聴人】 0名 【欠席者】 黒川委員
議 題	1 開会 2 協議事項 (1) 第2回環境審議会会議録(案)の確認について (2) 第2次環境基本計画後期計画の重点プロジェクトについて 3 報告事項 (1) 第2次環境基本計画後期計画の施策(SDGs等)について (2) 平成30年度西東京市環境白書・環境活動レポート(案)の報告について 4 その他 5 閉会
会議資料の名称	資料1 第2回西東京市環境審議会 会議録(案) 資料2 第2次環境基本計画後期計画の重点プロジェクトの進捗について 資料3 第2次環境基本計画後期計画の施策(SDGs等)について 資料4 平成30年度西東京市環境白書・環境活動レポート(案)について
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会 議 内 容

< 1 開会 >

(事務局より開会のあいさつ)

< 2 協議事項 >

(1) 第2回環境審議会会議録(案)の確認について

○会長：第2回環境審議会会議録(案)の確認について事務局より説明願う。

(事務局より資料1について説明)

○会長：皆様いかがか、ご意見等あれば挙手を願う。

(意見・質問無し)

○会長：特に意見が無いようなので、会議録についてご承認いただいたこととする。

(2) 第2次環境基本計画後期計画の重点プロジェクトについて

○会長：第2次環境基本計画後期計画の重点プロジェクトの進捗について、事務局より説明願う。

(事務局より資料3について説明)

○会長：事務局からの説明に対して、質疑等あるか。

- 委員：多摩六都科学館におけるパネル展示を拝見した。是非多くの方に見ていただきたい。
- 委員：重点プロジェクトに記載されている「河川清掃でコベネフィット」の「コベネフィット」とはどのような意味か。
- 事務局：一つの活動が、複数の活動に繋がるという意味である。河川清掃を通じて、人と人との繋がりなど、複数のメリットがあると認識している。
- 委員：ワルナスビもムラサキソウも見たことがなく分からない。例えばワルナスビを市役所入口のプランターに植えるなど展示をし、周知するのはいかがか。
- 事務局：周知の方法を検討し、周知活動に力を入れていきたい。
- 委員：幼稚園や保育園などとの連携はいかがか。
- 事務局：教育委員会を通じて多くの方へ周知できるよう連携していきたい。
- 委員：2月頃は来年度の学校の計画を立てる時期である。2月に入ったときの校長会議にて周知したいと思っている。SDGs や地域の問題については学校の中でも大切にしている分野である。河川清掃に参加したい学校もあると考えている。田無第一中学校、田無第四中学校、柳沢中学校、東伏見小学校などが石神井川の近くにある。環境保全課に問い合わせればマッチングできるので、繋げていきたい。また、ムラサキソウは田無第一中学校などで校章に描かれている。教育指導課としても協力していきたいと考えている。
- 会長：その他質疑等あるか。
- 委員：環境基本計画の中で、ワルナスビを取り上げた理由は何か。
- 事務局：計画策定時の登録団体ヒアリングにおいて、外来種であるワルナスビの駆除の活動が挙げられたこともあり、在来種の保護との観点から取り上げた。
- 委員：ワルナスビについては、どうして有害なのか、踏み込んだ情報が欲しい。例えばナガミヒナゲシは目立つなど特徴があるが、ワルナスビを選定した理由は何か。
- 事務局：西東京市第2次環境基本計画後期計画 59 ページに外来種について掲載がある。絶滅危惧種のカタクリの保全の役割も担う。
- 委員：もう少し役割を明確化しておく、より良いものになるのではないか。
- 事務局：ワルナスビは一つの事例として捉えていただきたい。ナガミヒナゲシと同様に特定外来種ではないが、要注意外来種に指定されている。ワルナスビに限らず在来種にどのような影響をもたらすのか、市民の皆様に意識をもってもらいたいことを目指している。
- 委員：レジ袋有料化についてはどのように考えているか。
- 事務局：多摩六都科学館での普及啓発など、市民の皆さんの意識を啓発する一方で、産業振興課と連携し、商店街でマイバッグを作ってもらうなどの検討をしている。市としても廃プラスチック問題に力を入れていきたい。
- 委員：学校と連携される際は、例年5月に行っている校長会で説明していただければタイミングが良い、それに向けて準備をしていただきたい。
- 委員：東京農工大学では、「農工大プラスチック削減5R キャンパス」活動を宣言している。ペットボトルを大学から無くす方向で取り組んでいるが、徐々に浸透していき、会議でもペットボトルを使わないなどの動きがある。今後は事業所、学校単位でこのような活動が広がってくるのではないか。
- 委員：水分補給はどうするのか。
- 委員：粉末のものを水に溶かして使ったりもする。
- 委員：200cc くらいの容量の水筒も販売されている。私は水筒を二つ持ち歩き、ペットボトルは買わないように意識している。

- 委員：そのような時代になっていくだろう。
- 委員：水筒を忘れて、手ぶらで出かけてしまうこともある。
- 委員：このような取組は時間がかかることだが、アンテナを張っておくといいのでは。
- 会長：レジ袋を辞退する人の割合はどれくらいか。
- 事務局：市民団体の調査では、西東京市では6割から7割くらい、東京平均では5割くらいであり、西東京市民は意識が高い。
- 委員：レジ袋の辞退者は年々増えている。しかし、意識しても大変であり、地道な努力が必要になる。
- 委員：自分で何ができるのか考え、意識していくことが大切ではないか。いいアイデアはないか、楽しんで地球に優しいことに取組めるのがいいと思う。
- 事務局：来年度は、クールチョイス推進事業に取組む予定である。これは自分が何かするときに、考えて行動することになるが、このクールチョイス推進事業では、委員のお考えのような内容を取組みたい。
- 委員：資料2の6ページにあるムラサキソウの事業は、どのような展開なのか。
- 事務局：最終ゴールとして、紫根染講座の開催を目標として考えているが、内容は今後決定していく。
- 会長：環境家計簿は小学生のみではなく、大人にも周知されるのがいいのではないか。
- 事務局：クールチョイス推進事業では、冊子を作成し、保育園、幼稚園に配布する予定である。小さいうちに環境意識を持ってもらうことをねらいとしている。同時に保護者にも見ていただく。子供向けのものなので大人にも啓発できる。また、職員が幼稚園や保育園に出張し、子供たちに啓発をしていきたい。
- 会長：その他ご意見等はあるか。
- 副会長：LED 照明器具の助成制度は、私も利用させていただいた。実際に申請してみると、非常に難しい。領収書を貰って、写真を撮影することまでは難しくないが、カタログ記載の何ワット等の情報が分からない。素人には難しいのではないか。また、実際には LED の 100%の出力を使っているわけではなく、実効値がどれくらいなのか、カタログには書いていない。利用者を増やすためには簡略化もいいのではと思った。
- 事務局：東京都の補助制度を活用している都合上、ワット数などの情報が必須のため対応している。申請される際は、職員が聞き取り、調べたりして手助けをしている。お問い合わせいただければこちらでサポートをしていく。地域の電器屋が書類の作成を補助することも多くあった。そのようなこともあり、2月までの申請期間を待たず、12月に予算上限に達し受付を終了した。難しいところもあるので今後の課題として考えている。
- 副会長：来年度も事業を継続されるかと存じ上げるが、制度の複雑さに二の足を踏んでいた人も申請できるよう、フォローしていただきたい。
- 委員：庁舎の蛍光灯はLEDに変えないのか。
- 事務局：設備更新の時期毎に LED 照明に変えているが、田無庁舎は耐震の兼ね合いもあり、後回しになっているが、随時進めていく。
- 委員：実際に LED 照明を設置した事例はあるか。
- 事務局：田無第二庁舎は LED 照明である。
- 会長：その他質問等あるか。ないようであれば、協議事項（2）は以上とする。

< 3 報告事項 >

(1) 第2次環境基本計画後期計画の施策（SDGs等）について

○会長：(1) 第2次環境基本計画後期計画の施策（SDGs等）について事務局より説明願う。

(事務局より資料3について説明)

○会長：事務局からの説明に対して、質疑があれば挙手願う。

○副会長：SDGs すぐろくや講演会などは実施されたとのことだが、学校で行うのはいかがか。今回の会場のように、買い物の途中で参加する人は少ないかと思う。裾野を広げるという意味では保育園幼稚園小学校で、講演会は中学で実施するのが面白いのではないか。

○事務局：ご意見感謝する。

○委員：碧山小学校がESD教育の研究奨励指定校になっている。碧山小学校にはオープンスペースがありアスタセンターコートくらいの広さがある。取組を広げてみるのはいかがか。

○事務局：すぐろくは再利用できる状態なので、いろんなところで出張して取組んでいきたい。

○委員：碧山小学校へ打診してみる。

○委員：フードドライブ事業について、次年度はどのような方向性か。

○事務局：今年度は西東京市社会福祉法人連絡会主催のものに参加した。来年度も同様に環境保全課として参加していきたい。また、環境フェスティバルでも受付をし、普及啓発をしていきたい。

○委員：放課後カフェ等で飲み物等を提供しているが、費用を捻出するのが難しい。このような取組みがあると、実施している団体は助かるのではないか。一定のニーズがあるので、そこどうまくつながりながら取組を広げていけば、市民のフードドライブの認知につながるのではないか。

○会長：食の支援が必要な団体は約20団体とのことだが、全団体が登録しているのか。

○事務局：社会福祉法人連絡会が募っているが、手を挙げたのが約20団体である。

○委員：賞味期限内のものしか受け付けられないのか。どの程度の制限があるのか。

○事務局：今回の事業では賞味期限2か月以上のものであった。2か月未満のものも、欲しい団体には提供している。厳しくはしているが、持参されたものは利用させていただいた。

○委員：量はどのくらいでもいいのか

○事務局：少量のものでも受け付けており、歓迎している。

○委員：クールチョイスを知らなかったので勉強になった。また、放課後カフェなどでも少量でも持ってきて頂ければ助かる。

○事務局：クールチョイス宣言は個人でもできる。やり方はスマートフォンなどで必要事項を登録することや、紙媒体を環境省に送ることでもできる。そうすることでクールチョイスのロゴなどを使うことができる。来年度は皆さんに周知していきたい。

○会長：他に質疑等あるか。

○委員：クールチョイス宣言は具体的な行動に結び付けないと意味がないが、例えば水筒やマイバッグなど、誰でもできることに意味がある。外出時の持ち物チェックの際に、財布・携帯・マイバッグなどと書いてあると、忘れずに持って行くのではないか。単にクールチョイスをするのではなく、マイバッグを入れているか確認するなど、行動に繋がるようなことはいかがか。

○委員：もう一つは、SDGs すぐろくについてだが、小学校のみではなく、科学館などで

展開されるのはいかがか、多摩六都科学館では環境関連の展示が少ない印象がある。今回のパネル展示だけでも延長されてよかった、常設されてもいいと思う。

- 事務局：すごろくならイベントホールでも実施できる。
- 委員：イベントホールでは昆虫展を2年に1回やっているが、昆虫も環境の影響を受けているので、一部スペースを環境絡みの展示で活用するのもいいかと思う。
- 事務局：多摩六都科学館とは、昨年度から連携している。今後も継続していければと考えている。
- 会長：1ページのエシカル消費について、ハウス栽培のイチゴ、メロンが×なのはどうしてか。
- 事務局：本来は路地で栽培されるものだが、ハウス栽培は人工的なものなので好ましくないというグループでの意見である。
- 副会長：クールチョイス宣言についてだが、どのように啓発していくのか。我が社では、新入社員・中途社員・派遣社員等に環境教育の研修をしている。研修の最後に、環境にいいことを意識するためにコミットメントカード書いてもらう。例えばマイバッグ、なるべくバスを使う、車を使わない、食品の無駄を減らすなど自分で宣言してもらう。このようなものを例として、書いてもらうのもいい取組として認知されるのではないかと思う。
- 委員：メディアを活用し、情報を流すといいのではないか。例えば J-COM などは観ている人も多い。もう少しマスコミの使い方を上手にしたらいいと思う。横に広がる視点を持つべきかと思う。
- 会長：その他質疑等あるか。無いようであれば、報告事項（1）は以上とする。

（2）平成30年度西東京市環境白書・環境活動レポート（案）について

- 会長：続いて環境白書・環境活動レポートについて事務局から説明願う。
（事務局より資料4について説明）
- 会長：事務局からの説明に対して、質疑があれば挙手願う。
- 委員：住宅用太陽光発電は、今は設置されていないのか。
- 事務局：数字自体は過去のものであり、現在も新規で設置されているが実数を把握されていない。目標は達成している。
- 会長：その他質疑等あるか。無いようであれば、報告事項（2）は以上とする。

<4 その他>

- 会長：その他について事務局から説明願う。
- 事務局：西東京市第二次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）後期計画の改定について、庁内の調整が遅れている状況であることを報告させていただく。
- 事務局：例年、環境フェスティバルはいこいの森公園で開催してきたが、お祭りのようになっており、本来の趣旨からずれてしまった。来年度はいこいの森公園ではなく、アスタセンターコートで環境月間の6月に行いたいと考えている。そこでしっかりと環境問題を啓発していきたい。
- 事務局：最後に、平成30年7月から審議をしていただき、西東京市第2次環境基本計画後期計画の策定等ご尽力いただき、感謝申し上げます。
- 会長：質疑等あるか。
- 副会長：環境フェスティバルはアスタセンターコートとのことだが、6月はオリンピック直前である。オリンピックもくっつけたフェスティバルにしたら面白いのではないか。また、環境白書についてだが、コントロールできないところを指標にするのは

難しいので、頑張りが見える指標を考えていただきたい。

○会長：その他意見等あるか。

(意見等無し)

○会長：意見等ないので、以上となる。本日の議事は全て終了した。

< 5 閉会 >

○会長：任期を終えるにあたって各委員から一言いただきたい。

(各委員より挨拶)

○事務局：最後に、みどり環境部長よりご挨拶申し上げます。

(部長挨拶)

○会長：これにて第3回環境審議会を閉会する。

以上